

八尾ロボットフェア 2015

第7回八尾ロボットコンテスト 2015.2.11 アリオ八尾

チーム名 & ロボット名	参加者 名簿				
ダイセン α-Xplorer	チーム代表者: 田中宏明				
	チーム監督者:				
	操縦者: <small>タナカ ヒロアキ</small> 田中 宏明				
	参加者:				
	応援: ダイセン電子工業社員一同				
写真添付		<table border="1"> <tr> <td>ロボット製作費</td> <td>ロボット 10万円 ユニフォーム 3万円</td> </tr> </table>	ロボット製作費	ロボット 10万円 ユニフォーム 3万円	
ロボット製作費	ロボット 10万円 ユニフォーム 3万円				
		<table border="1"> <tr> <td>ロボットの大きさ</td> <td>φ 400x415mm</td> </tr> </table>	ロボットの大きさ	φ 400x415mm	
ロボットの大きさ	φ 400x415mm				
		<table border="1"> <tr> <td>ロボットの重量</td> <td>3.5Kgs.</td> </tr> </table>	ロボットの重量	3.5Kgs.	
ロボットの重量	3.5Kgs.				
		車検(当日に)			
		<p>特 徴</p> <p>弊社自慢の商品の教育用プログラミングロボットキット α-Xplorer とリモコンで、ロボット上の全てをコントロールを行っております。</p> <p>また、ハンドボールのドリブルをいかに行うかをアイデアを出し合い、水平方向に回転させる事で実現し、オムニホイールを使った3輪の自在走行も特徴です。</p> <p>今回はゲームだけではなくロボットにロボットが乗り込む仕掛けも作りましたので、うまく動けば楽しんで頂けるかと思えます。</p>			
製作時のエピソード (苦労話・話題など)					
<p>今年は、初めての参戦にあたり、教育用ロボットのメーカーとして、自社商品だけでどこまで対応できるのか？</p> <p>また、「Edutainment」(楽しみながら学習)をサポートするプログラミングロボットキットのトップメーカーを目指し日々奮闘中ですが、今回は「Entertainment」が目立つ設計になってしまいました。</p> <p>しかも、この日の為に ユニフォームまで作ってテンションMAXです。</p> <p>社内では「懲りすぎや！」との声もちらほら聞こえてきそうなので、教育ロボットメーカーの名に恥じないように頑張ります！</p> <p>動きのポイントは、ボールを水平方向に回転するというアイデアで、ボールを自在に操ります。足回りもモーター3で構成行いながらも、前後左右どの方向にも進めるロボットです。</p>					